



中央中だより

<第2号>



◇ 令和8年度も1ヶ月が過ぎました ◇

4月の緊張感から少し解放され、校庭の若葉のように中央中の生徒たちも生き生きと活動を始めています。4月に入学した1年生も中学校生活に徐々に慣れ、各クラスでの授業の様子も活発な話し合いが行われ、休み時間も楽しく、元気に学校生活を過ごしている様子を見ることができます。

5月は、中間テストや市総体壮行会などの大きな行事が予定されています。部活動によっては、市総体が始まる種目もあります。年度当初は学校生活の基盤をしっかり作り、クラスや部活動の団結力を高める時期です。生徒の皆さんには、新しい目標に向かって、一丸となって取り組んでほしいと思います。

《保護者の皆様にお願い》

学校生活に慣れてきたこの時期こそ、学習習慣を確立するチャンスです。学校での学びが生徒の成長につながるよう、引き続き見守りと温かい励ましをお願いいたします。また、家庭学習の時間の確保やスマートフォン・SNSの利用ルールについても、今一度お子様と話し合う機会を持っていたいただければ幸いです。

日が長くなり、放課後の活動時間も増えてきました。下校時の交通安全や不審者対応など、学校でも指導を重ねておりますが、地域や保護者の皆様におかれましても、登下校時の見守りや、生徒へのお声かけをいただき、お気づきの点がありましたらご連絡をお願いします。

◇ これから求められる力 ◇

これからの中学生には、急激な社会の変化に対応するため「主体的に考える力」や「情報を活用する力」、多様な人々と協力する「コミュニケーション力」が今まで以上に求められます。また、基礎学力の定着、読書による知識の深化、自ら課題を見つけて解決する「探究力」も重要だとも言われています。

具体的には、中学校では以下の内容を意識して指導しています。ご家庭でもご理解いただき、意識していただくとともに、ご支援いただけるとありがたいと思います。

1. 「学びに向かう力」と「思考力・表現力」

- 主体的な学習習慣: 「やらされる勉強」ではなく、興味を持って自ら学ぶ姿勢(「学ぶ力・人間性」)。
- 考える力・問題解決力: 正解のない問いに対し、自ら根拠を持って判断し、表現する力(「思考力・判断力・表現力」)。
- 探究的な学習: 総合的な学習の時間などを通じて、課題を見つけ、調査・分析し、解決策を導き出す力。

2. デジタル・情報リテラシー

- ITツールの活用: スマホやタブレットを単なる娯楽ではなく、情報収集や学習ツールとして使いこなす力。
- 情報判断力: 溢れる情報から必要なものを選択し、その信頼性を評価する力。

3. コミュニケーション・人間力

- 対人スキル: 多様な価値観を持つ他者と協調し、協力しながら課題を解決する力。
- 人間関係の構築: 先輩・後輩、友人との思いやりある人間関係を築く力。

4. 自己管理能力

- 習慣化の力: 勉強、健康管理、時間管理などを自律的に行う力。
- 苦手克服と得意の追求: 苦手な科目から逃げずに向き合う姿勢と、得意分野をさらに伸ばす姿勢。

これからは、知識を詰め込むだけでなく、その知識をどう使い、社会や人とどう関わっていくか、上記の能力を身につけることが重視される社会になると思われます。